

令和6年度



学校だより  
4月号

# かわかみ

令和6年4月8日

横浜市立川上小学校

横浜市戸塚区秋葉町203-2 電話 811-9345 FAX 811-5961

## 「川上 Setup」に向けて Adjust ～当たり前の学校を高度に創る～

学校長 堀部 尚久

満開の桜に心も和む春爛漫を感じる新年度のスタートとなりました。季節を彩る色鮮やかな花々は、子どもたちの入学や進級をお祝いしているかのようにも思われます。4月新年度を迎え、保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級を心よりお祝い申し上げます。

気持ち新たに夢膨らむ新年度、子どもたちは、今年もたくさんの友達との学びや生活を通して、いろいろなことができるようになりたい、分かるようになりたいと、この1年間の学校生活に対する期待も大きいことと思います。進級したばかりのこの時期は、不安もあるかと思われそうですが、その一方で、あらゆる面で成長を実感できる機会もあり、子どもたちの意欲を引き出していくにはよい時期でもあると考えます。子どもたちは、集団の中で他者に認められながら、必要とされている自分の役割や立場があるということで、一回り成長を重ねると思われます。何事に対しても頑張ろうとする今の気持ちを大切にしながら、難しいことに対しても勇気をもって挑戦し、これまでより少しでも成長した「自分発見」「自分づくり」に向き合ってほしいと願っています。

川上小学校の令和6年度は、先週金曜日の入学式によって仲間入りした52名の新1年生を加え、児童数301名、学級数14学級で始まりました。創立133年目を迎えた本校は、現在、令和4年度に作成した中期学校経営方針に基づく教育活動を進め、本年度は、3年間を見通した中期取組目標に記した「子どもにとって魅力と活力にあふれた学校づくり」をsetupし、次期中期学校経営方針の作成に繋がる一年間であると捉えています。「子どもを教育する学校から、子どもが学び育つ学校へ」という学校観の下、とりわけ昨年度は、「川上 Update」を掲げ、本校学校教育目標「**たがいに思いやり 自ら考え たくましく生きる 川上の子～かがやく わたし かがやく みんな～**」の理念を大事にしながら、「継承と改革」を志向し、日々の教育活動の質的な向上に努めてきました。

「Setup」には、様々な訳語がありますが、私たちが掲げるsetupは、本年度の教育活動を進めていく上で、活動の質を高めながら学校運営のありようを整え、次年度の教育活動に繋ぐ「準備」をしていくことと考えます。そのためには、様々な視点から教育課程全体を見据え、教育活動のねらいや内容・方法等のadjust（調整・修正）が重要であると考えます。言うまでもなく、すぐにでも変えなくてはならないことや見直さなくてはならないことは、時を待たずしてすぐに変えて調整や修正をしていくこととなります。「after コロナ」の状況にある今、川上小学校では、この1年間を掛けて様々な視点からの調整・修正を視野に入れ、次年度に繋がる本校の教育活動を念頭に置き、教育活動の質的な向上を目指しながら、学校運営の機能の強化を図り、学校創りの精度を高めていきたいと考えています。

学校運営に関する具体的な変更点の詳細については、随時お伝えをいたしますが、その一例を挙げると、本校の特色ある「縦割り活動」の充実を図るために必要な時間確保のあり方や異学年交流のあり方とともに、本校三大学校行事（5月運動会・11月全校遠足・2月学習交流会）を核とした行事や授業時間数の見直しです。

また、令和7年度より運用開始される通学区域の変更（拡大）に向けた諸準備、学校保護者間の連絡システム「すぐーる」の運用方法の共有、公共交通機関を利用する校外学習時における「交通系カード」の使用、「算数」のデジタル教科書の導入、音楽朝会の保護者参観の実施等、学校運営の機能強化を図る上での新たな取組に関する調整が必要になると考えています。さらに、社会の情勢に基づく教材費高騰に伴う学校徴収金額の変更（学年費の値上げ）についても、本年度より、保護者の皆様にお願ひすることになりました。この件については、後日改めて詳細をお知らせいたします。

先に掲げた学校教育目標の実現は容易なことでは叶いませんが、本校の特色や強みを活かし、「子どもが育つ学校」となるよう「子どもが主語となる学校」という考え方を教育活動の基盤に置きながら、「川上 Setup」を進めていきたいと考えます。本年度も引き続き、保護者・地域の皆様方の温かいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



【令和6年度教職員】